

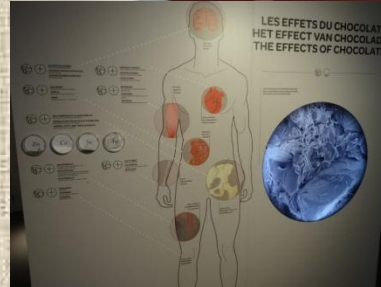
Le chocolat de cette semaine #80



この時期になると、毎週書きたいことが山積みで困ってしまいます！先週、パリとブリュッセルに、チョコレートに特化した旅にでておりました。まずは何週かに渡ってそのご報告をしていきたいと思ひます。

まず今回は、ベルギーのブリュッセルに今年の9月にオープンしたばかりの「Belgian chocolate village」についてです。有名なグランプラスからもほど近く、「Simonis」という駅を降りると、地面にチョコレート柄の足跡がすぐに見つかります。それを一歩一歩辿っていくとミュージアムに到着できるという素敵な道しるべ！手前にはGODIVAの大きな工場やアウトレットショップなどもあり、チョコレートの国なんだなあと肌で感じられます。

扉が閉まっていると、本当にここかな？という雰囲気建物の建物と比較するとだいぶ小さな扉から入ります。入るとすぐに受付があり、そこで入場券(大人8ユーロ)を購入するシステムです。また、館内はほぼフランス語ですがここでオーディオガイドも借りることができて、なんと日本語も用意されています。しかもペン型のオーディオガイドで、壁などにあるマークにピッとかがざすと日本語が流れてくるシステムです。



館内の内容は、チョコレートの歴史や文化が紹介され、各国のチョコレートが飾られていたり、カカオ豆原産国の様子がビデオで流れていたり。よくあるチョコレートミュージアムかな、と思ひきやチョコレートを作るデモンストレーションがあったり、実際にカカオの木を栽培していたり、科学的な観点からチョコレートについて分析されていたり…。盛りだくさん内容でした。

また、すべて見学を終えたあとにはカフェで休むことができ、そこでは4、5ユーロでショコラショーと好きなショコラ2粒がいただけたり、あとは普通のコーヒーなども飲めたりします。(メニューにはアイスやケーキなどの表記もありましたが、それらはまだ用意できていない、とのことでした。)ショコラは、ゴディバやノイハウスなど、ベルギーの有名なチョコレートやさんのもの。また、物販コーナーもあり、ここではプロワニアンなどのタブレットも購入できます。

まだまだ発展中な雰囲気が漂っていましたが、なかなか見ごたえのあるミュージアムです。子供も多く、皆さん熱心に学んでいらっしゃいました。

Belgian chocolate Village
rue de neck , 20 (Simonis)
<http://www.belgianchocolatevillage.be/>